

令和2年度

府中市教育委員会点検・評価報告書

【平成31（令和元）年度事業対象・ダイジェスト版】



アニメーター 安藤雅司氏による

原画 《タイトル》

9年間の学習成長
～1年ごとの満喫～

令和3年3月

府中市教育委員会

I 府中市教育委員会における点検・評価の取組について

- 1 事務事業評価は、事業を実施している所管課が事務事業の現状を把握し、認識した上で、目的を達成するために解決すべき課題を発見し、具体的な改善につなげていく取組みです。

事務事業評価制度を導入することにより、事業所管課が事業の成果を組織的、定期的及び客観的に見直し、データに基づく改革・改善を行いやすくなるという効果が期待できます。

- 2 点検・評価の対象となる事業

第4次府中市長期総合計画の第1期実施計画内の事業で、教育委員会の主要な事業を対象として行った事業について点検・評価の対象とします。

- 3 対象となる期間

平成31（令和元）年度とします。

- 4 点検・評価の実施方法

- (1) 教育委員会における点検・評価

事業の担当課が自己評価する1次評価と教育委員会全体として総合的に評価する2次評価の2段階で実施します。

- (2) 学識経験を有する者の知見の活用

評価の客観性を確保するため、外部の有識者による評価を行います。

学識経験を有する者として、前府中市教育委員会教育委員 古川一雄氏に御意見をいただきます。

- 5 評価方法

事業の執行結果について、活動指標、成果指標、事業コストを用いて「目的妥当性」、「有効性」、「効率性」及び「公平性」の観点から評価を行います。

II 教育委員会の活動状況

i 教育委員について

本市教育委員会は、人格が高潔で教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、市長が市議会の同意を得て任命した5人の教育委員により構成されています。平成27年4月1日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により教育委員会制度の抜本的な改革が行われ、平成27年10月1日に教育委員長と教育長を一本化した新教育長を設置しました。

令和2年3月31日現在

職名	氏名	任期	
教育長	平谷昭彦	平成30年10月3日～ 令和3年10月2日	3期目
教育長職務代理	高橋良昌	平成28年12月19日～ 令和2年12月18日	1期目
委員	和知啓子	平成29年10月1日～ 令和3年9月30日	1期目
委員	松尾紀美	平成30年12月19日～ 令和4年12月18日	1期目
委員	藤井美砂緒	令和元年7月3日～ 令和5年7月2日	1期目

ii 教育委員会の開催状況について

定例会、臨時会など平成31（令和元）年度は、15回の教育委員会会議を開催し、38議案について審議しました。

Ⅲ 事務事業の点検・評価の結果

[結果一覧表]

i 教育政策課関係

事業名	1次評価	2次評価	備考
通学バス等運行業務委託事業	事業改善	事業改善	
給食センター厨房機器改修計画事業	目的絞込	現状維持	
国府公民館建替事業	その他	その他	事業完了
学習拠点としての整備(TAM・公民館)	事業改善	事業改善	
移動図書館車の更新	その他	その他	事業完了
上下町民会館改修事業	事業改善	事業改善	
備後国府跡確認・整備・活用事業	目的拡大	目的拡大	
府中市歴史民俗資料館改修事業	目的拡大	目的拡大	

ii 学校教育課関係

事業名	1次評価	2次評価	備考
学校施設改修事業	目的拡大	事業改善	
外国語指導助手招致事業	現状維持	現状維持	
キャリア教育推進事業	事業改善	事業改善	
適応指導教室	現状維持	事業改善	
小中一貫教育推進事業	事業統廃合	事業改善	
グローバルキャンプ	事業改善	その他	事業完了
コミュニティ・スクール	目的拡大	事業改善	

iii 外部有識者による評価

「2019 全国コミュニティ・スクール研究大会 in びんご府中」が、広島県東部の中央部に位置する人口4万人弱の小さな都市を舞台に、広島県初の全国大会として開催されました。新学習指導要領に示された「社会に開かれた教育課程」の実現について、学校と地域と行政の協働により、関連性を持たせた実践は府中市の今後の教育都市として発展が大いに期待出来るものとなりました。

コミュニティ・スクール市内4学園（上下学園・府中明郷学園・府中学園・府南学園）の足並みがそろい、3者が共に新たに創り上げると云う気概を持ち続けて頂ければと念じます。

1 施設整備

学校校舎の耐震補強完了後、トイレ洋式化も計画的に進められている状況であり、今後は、大規模校・中規模校・小規模校それぞれの状況に合わせた施設整備が必要であると思います。コミュニティ・スクールの推進には学校の施設の充実が不可欠です。児童・生徒が学校に行って学びたいと言って貰える様なモデルを示して頂けないでしょうか。そのために児童生徒のみなさんにも、校舎の外観、内装、トイレなどを自分達で色彩も含めデザインするのも学習の一つではないかと思います。

また、公民館等の社会教育施設では、国府公民館の新築を始め、耐震補強工事も進められています。古い施設も多いことから、市民の皆様に愛着を持っていただける施設となるよう計画的な修繕が必要です。

2 教育の充実

府中市は「小中一貫教育」「義務教育学校」の実施、更に「コミュニティ・スクール」と常に児童生徒を第一に進めて来られました。市長、教育委員会、教職員の方々に感謝申し上げます。

英語教育については、保育所園児から中学生・義務教育学校後期課程までALTのネイティブスピーカーによる指導により、着実に向上していると報告もされており継続をお願いいたします。

キャリア教育では、生徒のアンケート結果によると、肯定的評価を行った割合が8割を超えています。更に深みを増す「コミュニティ・スクール」の取り組みへとつながるのではないのでしょうか。

府中市教育に関わるすべての方の熱意が感じられ、府中市の教育の充実振りが伝わって参ります。公立の学校の先頭を常に走り続けるしんどさは、喜びに変える事も出来ます。「児童生徒・保護者の皆様・地域の皆様の笑顔が素敵です」と云える教育の更なる充実をお願い致します。

3 まとめ

教育の充実は児童生徒の学びを変える。現に日々のコミュニティ新聞に掲載される内容にも充実振りが伺えます。

「子育て！」府中市で！

「教育！」府中市で！

「働く！」府中市で！

「老後の生活！」府中市で！

と「コミュニティ・スクール」を柱にそれぞれの地域、市内全域での交流が更に進み、教育の力で府中市がもっと元気になりますように！

今後の益々の発展を期待します。

IV まとめ

府中市教育委員会は、平成27年10月から新たな教育委員会制度での運営となった。府中市総合教育会議の開催により、より多くの意見を聴取し、発信する機会を得たことにもなっており、小中一貫教育の推進、より一層の充実にまい進している。

平成31（令和元）年度の評価については、第4次府中市長期総合計画の第1期実施計画内の事業で、教育委員会の主要な15事業について点検・評価を行い、実施事業をより発展させるべく業務改善の評価が多くみられた。

機構改革により平成31年4月から教育政策課、学校教育課の2課体制となり、府中市教育の推進の新たなスタートをきった。

準備期間を含め、平成24年度から7年間に渡り取り組んだコミュニティ・スクール全校指定については、この年の第一中学校の指定により、市内全校の指定を達成することができ、8月には「全国コミュニティ・スクール全国大会 in びんご府中」及び「エクスカージョン」を実施し、全国に府中市の取り組みを発信することができた。また、文部科学大臣から、府中明郷学園学校運営協議会（コミュニティ・スクールの取り組み）と国府公民館（学校・地域協働の取り組み）が表彰を受け、地道な取り組みが評価された年でもあった。

現在も終息の気配が見られない新型コロナウイルス感染症は、令和2年1月末頃からの感染拡大により、3月2日から学校の臨時休業となり、卒業式も卒業生と保護者、教職員のみでの実施となるなど、日常生活も含め、社会全体が大きな変革を求められることとなる年であった。

平成27年4月に60年ぶりに改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、事務事業の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされた。評価に対して外部有識者からは、「教育の力で府中市がもっと元気になりますように！」という励ましの言葉を頂き、関係機関との一層の連携を図っての事業実施に期待をいただいた。寄せられた貴重な意見を参考にし、子供達へよりよい教育環境を提供し続け、生涯を通した「学び」の実践を推進していきたい。